

安田女子大学と日本航空株式会社との連携

ー 広島空港来訪者を迎える立体サインオブジェの展示ー

i. 連携している地元産業界等の組織名称

日本航空株式会社（所管部署 広島支店）

ii. 当該連携事業における地域の課題

広島空港を利用する旅行者が、快適でスムーズな旅を楽しめる環境を提供するため、以下の課題を設定します。

- ・ 広島の文化や地域の特色を感じられる「地域の玄関口」としての広島空港の役割を強化すること。
- ・ 荷物の取り間違いを防止し、空港利用の利便性を向上させること。

iii. ii の課題解決に向けて設定した目標

広島空港に訪れる旅行者を歓迎するため、歓迎メッセージと注意喚起メッセージを立体サインオブジェを通じて発信します。これにより、広島の魅力を伝えるとともに、利用者の安心感・期待感を高めることを目指します。

iv. ii の課題の解決に向けて実施する取組の内容

① 立体サインオブジェのデザイン

学生が主体となり、広島の文化や地域の特色を取り入れたデザイン案を作成します。このプロセスでは、旅行者に視覚的な楽しさを提供するとともに、荷物の取り間違い防止を意識した実用性も考慮します。

② デザインの選定とミーティング

JAL がデザインを選定し、学生とのミーティングを通じて作品に反映させることで、地域のニーズに即した展示を実現します。

③ 立体サインオブジェの制作

学生チームが、広島の文化や地域の特色を反映させた立体サインオブジェを設計・制作します。これにより、旅行者に広島らしさを伝えると同時に、視覚的に荷物の取り間違い防止を促します。

④ 広島空港への設置

完成した立体サインオブジェは広島空港の手荷物受取所のターンテーブルに設置され、1年間を通じて訪れる旅行者へメッセージを発信します。